

特別研修（共同）

研修名	テーマ別政策形成演習 ～「子供の貧困」のない 社会を目指して～	おすすめポイント		
		担当者になったときにそのまま使える政策形成のポイントを学びます。さらに、「現場の声を聴く」ことを実践した上で、課題の本質を捉える事業分析手法を用いて政策形成を行います。		
講師	(株) <small>プブリクス</small> Publicus <small>かなざわ かずゆき</small> 金澤 一行	実施日数・時間	3日間	
		手法	通所研修	
		会場	自治人材開発センターほか	
		市町村研修コード	419	
ねらい	<p>行政を取り巻く諸課題の中から特定のテーマを設定し、課題解決に向けて政策形成の演習を行います（※）。統計資料や課題の背景等に基づき仮説を立て、現場の視察や関係者へのヒアリングを通して得た情報を仮説に反映させ政策を立案するプロセスを学ぶことで、課題の本質を捉えた政策形成能力を向上させます。</p> <p>※ 令和5年度は「子供の貧困」をテーマとします。</p>			
対象者	政策形成に興味のある職員			
実施日	7/25(火)・9/4(月)・9/5(火)			
予定人員	県10人・市町村10人			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日目 9:00 ～ 16:30	公共政策論概説	6	30	<ul style="list-style-type: none"> 行政と民間の施策づくりの違い 行政に求められる政策形成のプロセス 公平性・公正性・透明性
	課題調査のためのヒアリング技法・課題整理の方法			
	現状のインプット			<ul style="list-style-type: none"> 当該政策の担当者による子供の貧困に関する現状と政策の解説
	調査仮説作り演習			<ul style="list-style-type: none"> 統計等による定量的状況の確認 現行の制度の調査 知りたい情報のリスト化とアポ先の検討
2日目 9:00 ～ 16:30	現場ヒアリング	6	30	<ul style="list-style-type: none"> 現場視察及び関係者へのヒアリングを実施
	情報の整理と課題の構造化			

<p>3日目 9:00 ～ 16:30</p>	<p>政策形成ワーク</p> <p>発表・講評</p>	<p>6 30</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の因果関係の分析 ・現状の施策と課題のギャップ整理 ・課題解決に資する要因の分析 ・実施主体の検討 <p>下記の視点での評価を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の整理・体系化の精度 ・意思決定のメカニズムの解明の精度 ・実効性の評価 ・公平性・公正性の説明の納得性
<p>特記事項</p>	<p>・2日目にさいたま市近郊で現地調査・ヒアリングを行います（交通費は各所属負担）。行き先により開始時間及び終了時間が他の日と異なる可能性がありますのでご注意ください。</p>		